２．国際医療薬学教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（＊）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な５つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2021年（令和３年）度】

１）学部生、大学院生を対象としたプログラム

＜富山大学＞

○ 南カリフォルニア大学における臨床薬学研修

・学部生及び大学院生を対象として、南カルフォルニア大学・薬学部　のPharm Dコースの教員による講義やグループワークを行った。2021年度はオンラインにより実施した。

＜金沢大学＞

○ 短期留学プログラム

・学部生を対象とした単位認定プログラムとして、英語力を伸ばし、専攻に関わるグローバルな視野を広げることを目的とした短期留学プログラムを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

・本プログラムは、１）英語によるコミュニケーション力の醸成、２）海外における薬学教育の理解、３）英語プレゼンテーションの実践、４）異文化体験を目的としたものである。

＜静岡県立大学＞

○ 実務事前実習講義

・４年次生を対象として、米国アリゾナ大学薬学部のMichael Katz教授が「Pharmacist in Vaccination」というタイトルの講義をオンラインで実施した。

○ 薬学英語プログラム

・学部生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学領域における英語コミュニケーションを習得する教育を実施した。

○ イングリッシュリサーチプレゼンテーションプログラム

・学部生及び大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬

学研究発表を英語で行う際の実用的なトレーニングを実施した。

・学部生は自ら行ってきた卒業研究に基づいて英語での発表資料の作成と発表練習を行った。

○ 科学英語プログラム

・大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による国際学会での発表支援をカリキュラムの中で実施した。

＜岡山大学＞

○ 実践医療英会話講習会（＊）

・学部生を対象として、薬剤師が病院や薬局で外国人患者との英語コミュニケーションをとらざるを得ないケースを想定し、患者の情報収集や服薬指導で必要な会話の実践演習（英語でのロールプレイング）を実施した。

・模擬患者として本学の英語を標準語とするグローバル・ディスカバリー・プログラムの学生ボランティアを採用し、疾患や症候、医薬品の副作用について外国人模擬患者とディスカッションを行った。

✧ 参加人数：学部生９名

＜広島大学＞

○ 米国薬学部臨床実習研修

・学部生及び大学院生を対象として、テネシー大学、マーサー大学を訪問し、臨床実習や講義の受講、及び各地域の病院・薬局薬剤師業務の研修を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いオンラインで実施した。

＜徳島大学＞

○ 2021年度 徳島大学薬学部―米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部症例検討ビデオカンファレンス

・学部生を対象として、学部間協定校である米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部との交流事業の一環として、ビデオ会議システムを活用し、両校学生によるリアルタイムでの症例検討会を例年実施している。

・本年度は、３回のビデオカンファレンスを実施し、英語での症例検討を行うことで、臨床におけるグローバルな考え方の必要性について学んだ。

✧ 参加人数：学部生22名

＜長崎大学＞

○ ３大学「長大・熊大・阪大」合同カリキュラムプランニングワークショップ

・学部生を対象として、学生自主学修プログラムに採択された合同申請プログラムの一環として実施した。

・ニューメキシコ大学が提供するInternational Teaching Certificate Program（ITCP）

に参加した教員と講義のオンデマンド教材を一部視聴した学生が集まり、学生によるTBL体験や教員・学生合同による薬学臨床教育のカリキュラムプランニングに関する討論を行った。

・高度先導的薬剤師養成に資する学生の臨床教育能力を涵養することができた。

✧ 参加人数：長崎大学11名（教員７名、学生４名）、熊本大学６名（教員２名、学生４名）、大阪大学６名（教員２名、学生２名）、ニューメキシコ大学１名（教員）

２）その他（大学としての取組等）

＜北海道大学＞

○ ６大学ジョイントシンポジウム

・教員による研究発表を実施した。

＜静岡県立大学＞

○ US-COIL：大学の世界展開力強化事業

・カリフォルニア大学デービス校健康科学学部の外部講師と薬学部教員による講義をオンラインによる遠隔教育（COIL型教育）により実施した。

・本事業は上智大学・お茶の水女子大学との３大学で実施しており(2018～2022年度)、2020年度はカリフォルニア大学デービス校の大学院生及び上記２大学からも参加して、オンラインで実施した。

○ カリフォルニア大学デービス校大学間協定更新記念講演会

・カリフォルニア大学デービス校副学長を外部講師として招へいし（コロナウイルス感染拡大によりウェビナーに変更）記念講演会を実施した。

・今年度はカリフォルニア大学デービス校の卒業生もオンラインで参加して、英語で卒業研究の内容を紹介し合い、質疑応答を行った。

＜広島大学＞

○ マレーシアなど海外大学との交流

・マレーシアInternational Medical University薬学部など、海外大学との派遣、受け入れ、共同研究などの交流を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、すべてオンラインで実施した。

＜長崎大学＞

○ 長崎大学薬学部―ニューメキシコ大学薬学部オンライン交流会（＊）

・長崎大学薬学部とニューメキシコ大学薬学部のオンライン交流会（UNMCOP-NUSP International Week 2022）を共同開催した。

・双方の大学・薬学部、教育・実習についての紹介を期間中特設ホームページでオン

デマンド配信した。

・日米３名の先生方による講演をリアルタイムでライブ配信し、教員や学生による意見交換を行った。

・学生・大学院生による研究交流として、２日間にわたりニューメキシコ大学の学生４名と長崎大学の学生・大学院生３名による研究発表会をリアルタイムオンラインで実施した。

・長崎とアルバカーキの薬局の協力により、薬局製剤の調製に関する動画を制作し、期間中にオンデマンド配信を行った。

✧ 参加人数： １年次学部生40名、２年次学部生42名、３年次学部生20名、４年次学部生６名、５年次学部生３名、大学院生３名

＜熊本大学＞

○ International Teaching Certificate Program の受講に基づくカリキュラムプランニングワークショップ

・世界各国の医療システムおよび感染症対策を学ぶオンライン海外研修として、ニュージーランド、ネパール、バングラデシュ、スーダン、ドミニカ共和国、中国、イギリスの医療システムおよび新型コロナウイルス感染症対策について、海外の大学教員によるオンライン講義で学ぶ研修を実施した。